

# JIS

UDC 547.556.34-41

K 8056

## アリザリンエロ－GG (試薬)

㊞ JIS K 8056<sup>-1992</sup>

平成4年8月1日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

## 化学分析部会 試薬・標準液専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	並木 博	横浜国立大学
	坂東 一彦	通商産業省機械情報産業局
	細川 幹夫	通商産業省基礎産業局
	地崎 修	工業技術院標準部
	久保田 正明	工業技術院化学技術研究所
	喜多川 忍	通商産業省通商産業検査所
	寺尾 允男	厚生省国立衛生試験所
	中西 淳男	社団法人日本化学会
	山岡 宏	片山化学工業株式会社
	芝山 正	関東化学株式会社
	日暮 喜八郎	第一化学薬品株式会社
	高野 虞美子	東京化成工業株式会社
	中村 穰	森田化学工業株式会社
	北田 佳伸	和光純薬工業株式会社
	坂本 勉	株式会社オルガノメンテナンスサービス
	飯島 宏淳	財団法人化学品検査協会
	川瀬 晃	セイコー電子工業株式会社
	西川 光一	社団法人日本化学工業協会
	山口 直治	社団法人日本環境測定分析協会
	中村 靖	日本鉱業株式会社
(事務局)	田坂 勝芳	工業技術院標準部繊維化学規格課
	山本 健一	工業技術院標準部繊維化学規格課

主務大臣：通商産業大臣 制定：昭和 28.8.21 改正：平成 4.8.1

官報公示：平成 4.8.20

原案作成協力者：日本試薬連合会

審議部会：日本工業標準調査会 化学分析部会（部会長 鈴木 周一）

審議専門委員会：試薬・標準液専門委員会（委員長 並木 博）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部繊維化学規格課 番 100 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1) へ連絡してください。

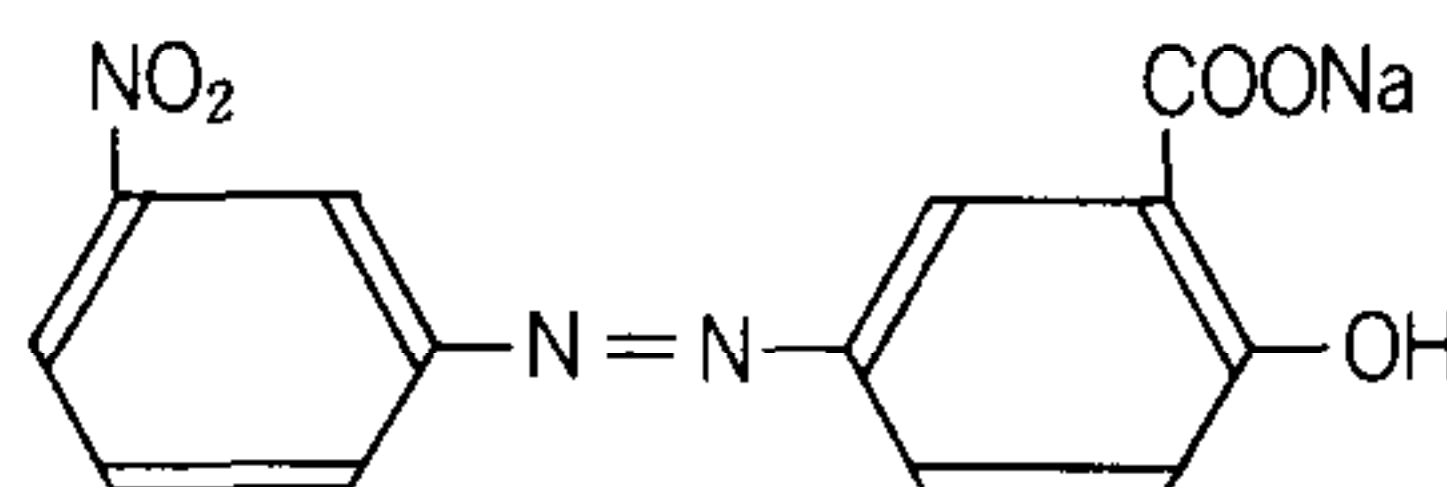
なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。



## アリザリンエローGG (試薬)

K 8056-1992

## Alizarin yellow GG



1. **適用範囲** この規格は、試薬として用いるアリザリンエローGGについて規定する。

**備考** この規格の引用規格を、次に示す。

JIS K 0067 化学製品の減量及び残分試験方法

JIS K 0117 赤外分光分析方法通則

JIS K 8001 試薬試験方法通則

2. **共通事項** この規格に共通する事項は、JIS K 8001による。

3. **種類** 特級

4. **性質** アリザリンエローGGは、次の性質を示す。

(1) **性状** アリザリンエローGGは、黄色～黄みの褐色の粉末又は小塊で、水に溶けにくく、エタノールに極めて溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

通常、塩化ナトリウム又は硫酸ナトリウムを含む。

(2) **定性方法** 試料の赤外吸収スペクトルをJIS K 0117によって測定すると、波数 $3\,090\text{ cm}^{-1}$ 、 $1\,650\text{ cm}^{-1}$ 、 $1\,580\text{ cm}^{-1}$ 、 $1\,490\text{ cm}^{-1}$ 、 $1\,440\text{ cm}^{-1}$ 、 $1\,340\text{ cm}^{-1}$ 、 $1\,280\text{ cm}^{-1}$ 、 $1\,070\text{ cm}^{-1}$ 、 $830\text{ cm}^{-1}$ 、 $800\text{ cm}^{-1}$ 、 $740\text{ cm}^{-1}$ 及び $670\text{ cm}^{-1}$ 付近に主な吸収を認める。この場合、試料調製はJIS K 0117の6.2(1)(錠剤法)による。赤外吸収スペクトルの一例を図1に示す。